

服部研究室の部門創成 B・卒業研究の進め方について

○服部研究室は、まちづくり、都市計画、都市デザインを専門分野とする研究室です。部門創成 B の授業や卒業研究では、実際の都市を対象に資料収集や現地調査を行なって、課題を発見し、課題解決の提案をしていくことを目指します。

○都市にあるもの、都市で起こっていること、すべてが対象です。自分が好きなこと、気になっていること、将来目指したいものから発想して、自由にテーマを決めていきます。活動の自由度は高いですが、自主的な判断と行動が必要です。

○国家公務員(国土交通省)の経験やまちづくり・都市デザインの実践活動に基づく実践的な指導を行います。

<部門創成 B の進め方>

まち歩き体験 → 各自テーマ決め → 資料収集・現地調査 → 毎週の成果報告と個人指導 → 中間発表 → 発表資料作成 → 最終発表

* 都市環境部門の4名の教員で合同で中間評価、最終評価を行います。

<卒業研究の進め方>

- ・各自の希望を聞き、話し合いながら研究テーマを決定
- ・毎週1回のコアタイムで1週間の活動報告と個人指導
- ・夏から秋にかけて現地調査を実施(アンケート、ヒアリング、測定等)
- ・12月から1月にかけて論文作成、発表準備

<過去の研究テーマ>

地域活性化を目的とした音楽フェスの比較研究／アニメの聖地巡礼に対応したまちづくりの効果に関する研究／街の PR 映像の効果に関する実践的検証／路面交通の存続可能性についての研究／東日本大震災の伝承施設に関する研究／位置情報ゲームの効果と弊害に関する研究／観光地の口コミ評価のテキストマイニング分析／高蔵寺ニュータウンの廃校利用施設の実態と課題／空間シミュレーションゲームを用いたまちづくりワークショップについて／画像投稿 SNS を用いた地方自治体の観光情報発信について など

* 服部が実際にまちづくり関わっている名古屋市、春日井市(高蔵寺ニュータウン)、犬山市、恵那市などでまちづくりの実践に関与することも可能

<次ページの研究室紹介も参考にしてください。>

担当教員 服部敦(はっとりあつし) 教授・工学博士

服部研究室（都市デザイン研究室）

この研究室では、都市をどのようにデザインするかを研究しています。都市デザインは、最終的には、空間のデザインを目指しますが、その過程で、都市空間で行われる様々な活動をデザインしたり、活動の担い手組織をデザインしたりします。研究の対象は無限であり、「なんでもあり」の世界です。スポーツ、音楽、ゲームなどの身近な関心から出発することも、防災、地球温暖化、高齢化などの社会問題から始めることも可能です。さいごには、よりよい都市空間を創造することを目指して研究していきます。

Urban
Activity
Design

<主な研究テーマ>

① 都市のデザイン

都市の景観形成、歴史的な街並みなどの文化財の保存・活用、まちづくりのマネジメント組織の形成、未来社会の活動のデザインなど

【実践P】 北大東島燐鉍山遺跡の保存・活用、犬山市の観光戦略など

② 都市のリノベーション

コンパクトシティを目指した都市構造の再編、ニュータウン等の郊外住宅団地の再生、駅前空間の再々整備、空き家・空き地の活用など

【実践P】 高蔵寺ニュータウンの再生、名古屋市三の丸地区の再整備など

③

④ 都市の情報化

都市の資源・将来像の情報化（映像、ゲーム、アート、パフォーマンスなど）による多様な主体のまちづくりへの参加促進

【実践P】 ショートムービーワークショップ、すごろくゲームの活用など

* 研究室の活動の詳細は、研究室のホームページで確認してください。

<http://uracdesign.com>

（QRコードを読み込んで、アクセスすることも可能です。）



<研究の進め方>

現実の都市を舞台に、現地視察、関係者へのヒアリング、アンケート、データ計測等を通じて、課題を明らかにし、解決策の提案につなげる研究を行います。研究室にこもらず、都市に飛び出て、様々な体験をしてください。週一回のミーティングのほかは、原則、自由に活動してください。